

処理対象量の見直しについて (平成28年7月)

1. 豊島廃棄物等の処理対象量の推計結果

- 平成26年度末の見直しでは、体積は約62万7千 m^3 、重量は約90万7千トンでした。
- 平成27年度末の推計では、公害等調整委員会が想定していた廃棄物等の底面よりも浅い部分が多かったこと等から、**処理対象量は、体積が1万 m^3 、重量は3千トン程度減少し、約90万4千トンの見込み**となりました。

【今回の推計結果】(平成28年3月末現在)

項目	体積(千 m^3)	重量(千トン)	密度(トン/ m^3)
処理対象量	617 (627)	904 (907)	—
廃棄物等	596 (603)	866 (866)	—
処理済量	556	804	1.45 (1.43)
残存量	40	62	1.56 (1.48)
直下汚染土壌	21 (24)	38 (41)	—
処理済量	5	9	1.81 (1.77)
残存量	16	29	

※括弧内の数字は、平成27年3月末現在の推計である。

2. 処理期間

- なお、現段階で機械的に試算すると、これまでと変わらず、**平成29年3月に廃棄物等の処理が完了する見込み**です。

上記推計と別に平成26年度と27年度に行った試掘調査結果等を基にした推計も参考までに行ったところ、処理対象量は平成26年度末時点から約1万トン少ない約89万7千トンとなり、処理完了時期は、平成29年1月頃になると試算されるとの推計結果となっています。

※今回の調査結果による処理対象量等については、現段階での推計であり、掘削が完了しないと量は確定しないため、今後増減する可能性があります。

3. 今後の対応

- 県では、今後、次のとおり対応します。

①実際の掘削において試掘データの精度の検証を行うとともに、今年秋頃までには廃棄物等の掘削を終えて体積ベースの処理量を確定させるなど、きめ細かな進行管理を行ってまいります。

②今後とも豊島廃棄物等管理委員会の指導・助言を得ながら処理に努めます。